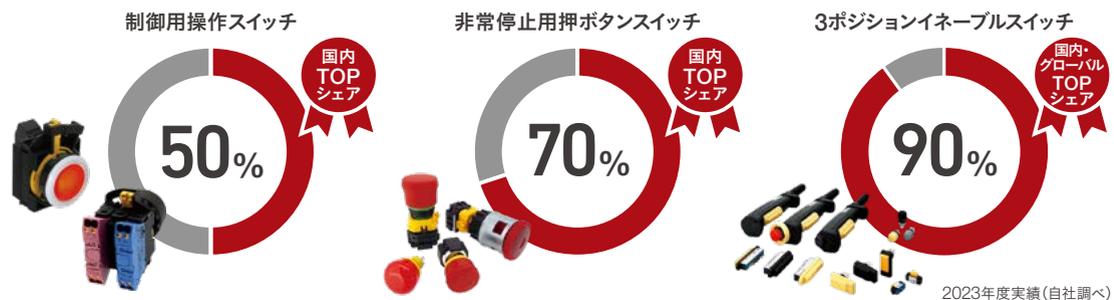


# ■ IDECの強み

## 01 多様な制御機器のラインアップ

さまざまな業界・お客さまのニーズに対応できるよう、制御機器の幅広い製品を10万機種以上ラインアップしています。また、人の命を守る製品であるため、国際規格や各国規格対応に加え、品質・安全面の高い要求にもお応えできる製品が求められていることから、長年のノウハウや信頼性をご評価いただき、各種製品で高いシェアを獲得しています。



## 02 「安全DNA」をベースとした製品開発

創業間もない1950年に開発した開閉器に、蓋が閉じた状態でなければ電源がオンにならず、通電状態では蓋を開けられないようにすることで、感電のリスクから作業員を守る二重化インターロック機構を採用し、ロングセラー製品となりました。

この安全思想は脈々と受け継がれており、創業以来、安全DNAをベースとした製品づくりを行うことで、高品質な製品をご提供しています。

IDECが高いシェアを持つ非常停止用押ボタンスイッチは、非常時に機械を停止させて作業員の安全を守る製品ですが、国際安全規格に対応するだけでなく、IDEC独自の安全を極めた「セーフティポテンシャル構造」を採用した製品をラインアップしています。

メイン接点には、常にオフ状態(安全側)に移行しようとするエネルギーが生じているため、壊れた場合でもオフ状態になることで重篤な産業事故を防止し、人々の安全を守ることができます。



## 03



(左) 経済産業大臣政務官(当時) 長峯誠氏  
(右) IDEC株式会社 名誉顧問 藤田俊弘

産業標準化事業表彰式



## 国際標準化活動の推進

国際規格に準拠した製品づくりだけでなく、1990年代からIEC(国際電気標準会議)やISO(国際標準化機構)の専門委員会に積極的に参画し、グローバル社会における、新たな技術開発に対応した国際安全規格づくりを提案、推進するなど、IDEC自身がルールを形成していく活動を積極的に行ってきました。IDECが国際規格を創出した3ポジションイネーブルスイッチは、国内外の主要なロボットメーカーにご採用いただき、グローバルで90%以上のシェアを保有していますが、近年のロボット需要の拡大とともに出荷台数も大幅に増加しています。

2022年には、20年以上の国際標準化活動の功績を評価され、名誉顧問の藤田俊弘が、産業標準化事業表彰の内閣総理大臣表彰を受賞しています。

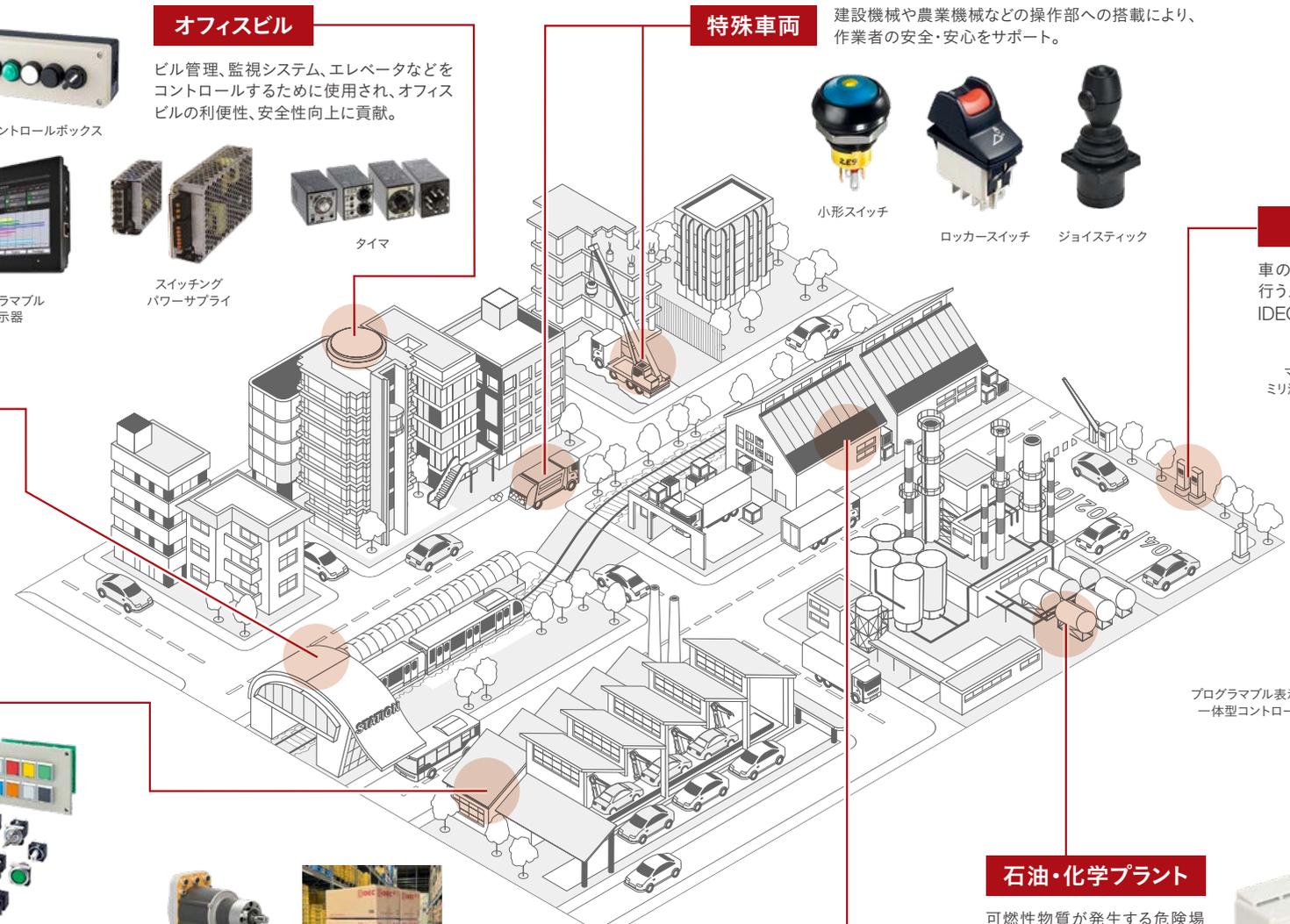
## 04 M&Aや提携によるグローバルでの事業拡大

グローバルでの事業拡大に向けた取り組みとして、IDECグループの事業とシナジー効果の見込める、国内外のさまざまな企業とのM&Aやパートナーシップ契約の締結などを積極的に推進しています。特に、2017年にフランスのスイッチメーカーであるAPEMをグループ化したことは、ここ数年の事業成長の大きな要因の一つになっています。



# 05 社会貢献力のある製品・サービス

IDECグループの技術や製品は、工場をはじめとするものづくりの現場や、暮らしの身近なシーンにおける、さまざまな社会課題の解決に貢献し、ものづくりと暮らしの未来を支えています。



### オフィスビル

ビル管理、監視システム、エレベータなどをコントロールするために使用され、オフィスビルの利便性、安全性向上に貢献。



### 特殊車両

建設機械や農業機械などの操作部への搭載により、作業者の安全・安心をサポート。



### 駐車場

車の出入りを検知し、入出庫管理を行うメインシステムのソリューションをIDEC製品で実現。



### 公共交通機関

緊急時に電車を停止したり、ホーム柵の挟まれ防止などにより、日常の運行と利用する人々の安全をサポート。



### 工場内設備・生産ラインの各種機械装置

工作機械、半導体製造装置など各種装置への搭載や、生産ラインの操作・制御装置として採用されることで、生産性、効率性、安全性向上に貢献。



### 物流倉庫

物流が増加する現場で、荷物の自動搬送や自動仕分けなどを実現する機器により、作業の自動化を推進。



### 石油・化学プラント

可燃性物質が発生する危険場所でも使用できる製品群により、重篤な労働災害を防止。



イントロダクション

メッセージ

価値創造ストーリー

ビジョン実現に向けた取り組み

事業戦略

価値創造を支える基盤

データ・会社概要